

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学年】 小学校6年
 【題材名】 「あ、見えた！～風をとらえて～」(造形遊び)(全5時間扱い)
 【育成する資質・能力】

【知識及び技能】	【思考力, 判断力, 表現力等】
2(2)ア 造形遊びをする活動を通して、活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること。	2(1)ア 造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思いつくり、構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。

【主な学習活動と留意点】

前題材からのつながり：造形遊び「ようこそ！光と風ワールドへ！」では、中庭の特徴を生かしたり、風や光を美しく表現したりするために、スズランテープやビニールテープ、ポリ袋の組み合わせ方を工夫した。

働かせる見方・考え方：
 テープ類のつなげ方や色の組み合わせ方の工夫で生まれる形や色の特徴から、自分なりの価値を生み出すこと。

段階	学習活動(時間)	留意点
出合い	1 オリエンテーション ・学校の中で一番風が吹いている場所を考える。 ・校庭に出て、どこでどんな風が吹いているのかを実際に風を感じながら、自分のお気に入りの場所を決める。(1) ・自分が選んだ場所の特徴や風の吹く様子を捉えて、どのように可視化するか考える。(1)	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 題材の見通しをもち、表現に興味をもつ場面 ○校庭という意見になるだろう。 ○材料のスズランテープを数本持ち、校庭内を自由に動いて風を感じるようにする。 ○スズランテープで風の動きをいろいろ試し、その動きをぼうけんくんで撮影しておく。 </div> 題材のねがい：場所の特徴を生かし、テープ類のつなげ方や色の組み合わせ方を工夫して、風を美しく表そう！
広がり・深まり	2 場所の特徴を生かしながらテープ類の組み合わせ方を工夫して、風を美しく表す。(2)	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 個人追求の場面、自然に行われる相互鑑賞の場面 ○自分たちが活動する場所ではどんな風の流れるかを確認してから活動を始めるようにする。 ○静止しているときに美しいのではなく、風が吹いたときに美しく見せることを意識する。 ○いろいろと試しながら、新しく思いついたらどんどん変えていってよいことを伝える。 ○必要に応じて自由に友だちの活動を見に行き、よいことを伝える。 ○子どもたち自身が、風をとらえた瞬間のベストショットをぼうけんくんで撮影しておくようにする。 </div>
振り返り	3 活動場所の特徴や材料の特徴を生かして表されたもののよさや、風が動く姿の美しさを感じとる。(1)	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 個人、全体での鑑賞場面 ○それぞれの活動を、風の流れを体で感じながら見て回るようにする。 ○それぞれの表現のよさや美しさを見つけ、話し合う。 </div>

次題材へのつながり：造形遊び「ひらいてみると」では、形や色のバリエーションが豊富なかさをを使って、開いた時の形や色から発想し、場所の様子を変化させる。